

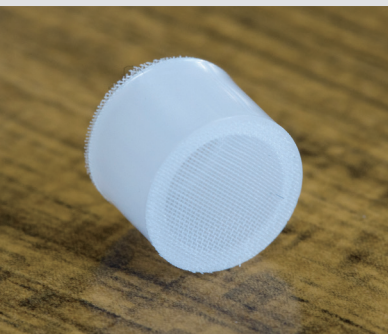
- ▶ 対象類型 精密加工・立体造形
- ▶ 事業類型 設備投資のみ
- ▶ 主たる目的 技術革新、生産性向上

飲料水向け樹脂繊維フィルターの試作開発



1				
2	3	4	5	

1／導入した「樹脂繊維フィルター超音波溶着機」。
 2／外径6mmの極小樹脂パイプの両面にメッシュを溶着する高度な技術を有する。 3／オリジナルの商品は100種類以上。 4／樹脂フィルターを立体的な形状へ加工が可能。一部は自社にてアミ加工からインサート成形まで行っている。
 5／地元・勝山市の女性が多く活躍している。生産数は月産300万個を誇る。



こんな会社です！



専務取締役
堀川 育央さん

「できない」とは絶対に言わない
独自の技術でやり遂げる。

当社は独自の樹脂アミ加工に関する技術を駆使し、「できない」とは絶対に言わないことをモットーに、様々な顧客ニーズに応えられるよう日々活動しています。従来からの技術に満足することなく、少しでも品質と生産性を向上させるための努力を続け、お客様にご満足いただけるまでやり遂げます。弊社の活動が何らかの形で社会に貢献できるように、会社一丸となってこれからも努力してまいります。

フィルター製造のプロ集団が、技術向上でさらなる信頼を獲得。

フクトミは、自動車のオイルフィルターやコーヒー・茶葉の抽出フィルターなど、メッシュ生地を利用したフィルター加工を得意としている。樹脂繊維製フィルターの需要が多くなるにつれ、溶着強度や低コスト化等、顧客の要求は高まっていた。

同社は以前より飲料メーカーからフィルター製造を受注していたものの、超音波溶着が必須となる一部の製品については外注会社に加工を依頼していた。既存設備で可能な「熱処理溶着」では、フィルターの溶着時に樹脂繊維を溶かすため「糸引き」と呼ばれる不具合がまれに発生しており、除去作業および全数選別が必要であっ

た。また、安全性を考慮すると、機械稼働時に人員配置が必要で課題は多かった。異物混入に関する規制が厳しさを増す中、新技術獲得と品質向上を目指して、「樹脂繊維フィルター超音波溶着機」の導入を決意。試作品の樹脂繊維フィルターを「超音波溶着機」で溶着したところ、糸引きは皆無に。熱処理溶着ではなし得ない溶着強度の高いフィルター製造を、社内で一貫生産できる体制も整った。しかも、寸法精度が上がったことで歩留まりも向上。高品質の製品を安定供給でき、顧客の信頼獲得につながっている。

注目すべき
成果

▶ 技術の向上によって、生産体制もより強固に。

高い溶着強度で0.1mm以下の寸法精度を保つ、異物ゼロの樹脂繊維フィルターの作製に成功。スピードUP、無人化も可能となり、生産効率の向上によって、多品種・短納期・高精度・小ロットの生産体制に磨きがかかった。

事業活動の
付加価値

▶ 「信頼のものづくり」が様々な分野に拡大。

立体形状のフィルターも製作可能となり、様々な形状の溶着に挑戦できる環境が整った。顧客のニーズをくみ取って形にしてきたアイデアマンの社長・専務を中心に、幅広い分野の溶着を積極的に提案・応用していく。

今後の展望

▶ 新商品開発も検討。経営基盤の強化を狙う。

新技術と品質・納期の安定化を武器に、取引先企業のニーズを捉えた新商品開発を検討している。今後は売上高・経常利益・付加価値額の増加が目標。収益率の向上で経営基盤の強化が期待される。

ものづくり専門員から一言

挑戦の中から
生まれる“技術革新”。

超音波溶着機の導入により、作業効率・スピード化が図られるとともに、高水準での品質を維持しながら従来のロス率を大幅に軽減させている。「困難なオーダーでも、まずは引き受ける」と言う経営者の挑戦する姿勢が、様々な形状・サイズへの成形を具現化する技術革新を生み出した。



加工前材料



旭町工場

株式会社 フクトミ

代表者／代表取締役 堀川 将央
 設立／2009年（平成21年）4月
 資本金／800万円 従業員数／10名
 事業内容／繊維の加工業、自動車、家庭用電化製品等のフィルターの加工及び販売

本社：〒911-0817 勝山市旭毛屋町2105-2
 ☎0779-88-2357 FAX.0779-69-1223

旭町工場：〒911-0803 勝山市旭町1-6-28
 ☎0779-64-5067 FAX.0779-64-5067
 E-mail fukutomi@key.ocn.ne.jp
 URL <http://www.filter-no-fukutomi.jp/>